

農協だより

2019.10月
No.580

たいき

ジュニアホルスタインクラブ
「サマースクール」
4ページ～



青年部
「食育事業」
2ページ～



青年部
「消費拡大事業」
2ページ～



青年部

農畜産物消費拡大事業

7月26日と27日の両日、道の駅コスモール大樹イベント広場で大樹町商工会青年部主催の「第14回納涼ビアガーデン」に出店し、農畜産物の消費拡大事業を行った。

この事業は、今年で9年目となり、両日で延べ17名の部員が活動した。初日には多少の雨が降ったものの、両日とも気温が高くビアガーデン日和の開催となり、生ビールを求めた来場者で大盛況となった。青年部が出品した「ミニクレープ」はチョコレート、イチゴ味を販売。2日目には、数量限定の特別メニューも準備し、約650個の販売となり大盛況であった。

餅まきのイベントでは、前田部長がコスモール駐車場に用意された足場より餅をまき、多くの来場者が集まった。抽選会では青年部より部長賞としてチーズセット、農協より全農商品券を贈った。

ビアガーデン終了後には、商工会青年部との懇親会が開催され、他業種との連携を図った。



部長による乾杯



クレープの作業風景



休憩中の部員



部長賞の贈呈

青年部

第2回食育事業

— 収穫作業と調理実習 —

8月27日に小学校農園場において、第2回目となる食育事業を行った。

当日は、部員6名が参加し、春に播種した人参、キャベツ、ポップコーン用とうもろこし、大豆、カボチャの管理と収穫作業、調理実習を行った。

し、マヨネーズを着けて食した。普段は苦手な人参を食べないと話す児童も、獲れたての野菜に、「おいしい」と生で食べる様子も見られた。また、枝豆については塩ゆでし給食と一緒に食した。

圃場に残るポップコーン用とうもろこしや大豆、カボチャについては、10月に収穫する予定。

前田部長の挨拶のあと、高松副部長から作業の説明と作物についての話があった。児童たちは、その場でカットされた野菜の断面を見て、とうもろこしの実の入り方やカボチャの中身、様々な形の人参に興味を持ち、実際に手に取って匂いを嗅ぐなどしていた。収穫した人参とキャベツは水洗い



人参を収穫する児童



カボチャを手にする児童



帰り際のハイタッチ



生野菜の試食

女性部

環境美化運動

7月23日、部員30名が参加する中、環境美化運動の一環として、帯広市の「紫竹ガーデン」・清水町の「とかちしみずフルーツガーデン」を視察した。

「紫竹ガーデン」は、広さおよそ一万八千坪の広大な敷地内に22のゾーンと13のコレクションがある。ここでは約二千五百種類以上の花々を季節毎に楽しむことができる。この時期は、アイリス、オリエンタルポピー、バラ、クレマチスなどといった花々が咲いていた。入園後はガーデン



帯広「紫竹ガーデン」にて

内の説明をうけた後、部員各々自由に散策した。散策後はバラのソフトクリームを堪能する部員も多かった。清水町に入り、昼食をとったあとは「とかちしみずフルーツガーデン」へ。アメリカンチェリーや南陽などの種類のさくらんぼ狩りに参加。甘いさくらんぼを求め、脚立に上っておいしさくらんぼを堪能した。肌寒い一日ではあったが、環境美化に努める部員達にとっては実りある視察となった。

すずらん会視察研修

― 定山溪・札幌方面へ ―

8月7日と8日の両日で、視察研修を実施した。会員4名、子供3名が参加し、定山溪・札幌方面へと向かった。

1日目は、「定山溪ファーム」を視察。ここでは時間制限がなく果物狩りが出来る。南陽や佐藤錦などのさくらんぼ狩りはシーズン終盤となっていたものの甘いさくらんぼに会員も子供達も夢中になって収穫して



あま〜いさくらんぼに夢中♪

いた。又、りんごやプラムなども園内では数多く実っていた。

2日目は、「円山動物園」を見学。残念ながら雨に降られる結果となってしまうものの、改装された動物園の展示などを楽しんだ。その後、三井アウトレットモールに立ち寄り、束の間の買い物を楽しんだ。



円山動物園でハイ、チーズ!

牧場ママの試食試飲会

― 牛乳・乳製品消費拡大運動 ―

8月9日、Aコープコスモフーズ店において、牛乳・乳製品消費拡大運動「牧場ママの試食試飲会」にマネキン販売員として7名が活動した。

当日は牛乳の格安販売と、バナナと冷たい牛乳で作る「ミルクセーキ」と「クリームチーズ&オレンジジャム+ビスケット」の試飲及び試食提供を行った。

午前中は雨天により客足が心配されたが帰省者が多いお盆時期のため、食材の買い出しに来る来場者も多く、「こんな食べ方があるなんて知らなかった、是非真似してみたい」と今回使用した材料を手取る様子も多く見られた。



試食品の説明中

小麦収穫 平均反収8.7俵

秋まき小麦「きたほなみ」の収穫が8月3日に終了した。収穫作業は、7月29日より始まり、昨年より2日早い収穫開始となった。

今年は、一部圃場で冷害・病害による被害が心配されたが、登熟期まで天候条件が安定し副産物も少なかったため、製品量は前年を上回る結果となった。平均製品反収は、519kg(8.7俵)。また、平均水分が16.8%、副産物

率が19.7%となった。(作付面積35戸525.9ha) 一次概算金については、1等Aランク2,262円(税別)／俵と予想される。

品質などが確定するのは、概ね10月下旬の見込み。

農産販売課の高橋課長補佐は、「9月の天候は、例年より降水量が多いと予報されているため、令和2年産播種の作業遅れに十分注意していたきたい」と話している。



ジュニアホルスタインクラブ サマースクール

8月6日、大樹町生涯学習センターにおいて、大樹町ジュニアホルスタインクラブ「サマースクール」を開催した。

当日は、会員16名と保護者17名が参加し、牛乳寒天とティラミス作りを行った。作業途中、日本ハムファイトーズ公式キャラクターのBBも応援に駆けつけるなど、和気あいあいと協力しあいがら作業を進め、無事に完成。その後は、昼食会場に場所を移し、バーベキュータイム。食後に牛乳寒天とティラミスを試食した会員たちは、「おいしい」と大満足の様子であった。会員達にとって夏休みの楽しい思い出となった。



第3回 農業塾2019

『町内平均と組勘データ値比較』、『組勘データ値比較に基づく対策など』

9月3日、JA大樹町において、5名の受講生が出席の下、第3回農業塾を行った。

当日は経営相談課の以頭貴広課長補佐が講師を務め、午前の部では、「町内平均と組勘データ値比較」、午後の部では、「組勘データ値比較に基づく分析と対策など」をテーマに講義を行った。

講義の中では、町内、全道、全国の経営指標の平均値や経費率などを確認。農業所得の増加には、規模拡大の他、資本・労働・土地のバランスを考えることが生産性に影響を与えることを学んだ。

次回は10月1日に「全ての技術は牛のためにある! (牛舎施設とカウコンフォート)」と「市場における家畜の有利販売(上場時の注意点)繁殖・発情整理の大切さ」を行う予定。





受賞の記念写真



審査のようす

8月18日に十勝農協連家畜共進会において、十勝総合畜産共進会（乳用牛の部）が開催された。
全十勝より181頭が17部門に分かれ出品。審査員にはアメリカ・ウィスコンシン州のアメリカホルスタイン協会公認審査委員のエディ・ブウさんが務め、体格や資質を競った。大樹町からは8戸17頭が出品し、㈱エンブレムK（振別農事組合）所有の「エンブ

又、9月28日～29日に開催される北海道ホルスタインナショナルショウには尾田農事組合の（有）金丸牧場、開進農事組合の金曾浩文さん、振別農事組合の㈱エンブレムK、山下功典さんの所有する乳用牛4頭が出場を決め、活躍が期待される。

十勝総合畜産共進会

リザーブシニアチャンピオン獲得

JAグループ職員養成学校

JAカレッジ

北海道農業協同組合学校

JAやJA関連団体へ100%就職（平成30年度実績）

令和2年度
第2回 **学生
募集中**

男女共学
学費等免除制度
あり



農協運動従事者として必要な知識、技能、態度の基礎的教育に加え、積極性・協調性・使命感を目標にして新時代にチャレンジする「はつらつ」とした人材育成に努めています。

- 定員60名
- 1年制（令和2年4月～令和3年3月）／男女共学・全寮制
- 高等学校・専門学校・短期大学・大学卒業及び卒業見込みの者で年齢が平成31年4月1日現在満24歳未満の者
- 出願期間／10月1日（火）～11月18日（月）まで
当日消印有効
- 試験日／12月13日（金）・14日（土）
- 試験科目／●筆記試験（言語・数理・論理・英語・常識）
●適性試験 ●面接

お問合せ及び資料のご希望の方は
一般財団法人 北海道農業協同組合学校 学生部
〒069-0834 江別市文京台東町43番地1

学校見学会（祝祭日は除く）

10月5日（土）・27日（日）
11月9日（土）・23日（土）

*見学希望日を事前にお申込みください。

施設・寮の見学のほか、試験、就職に関する説明会など

《月～金曜》 9:00～16:00
《土・日曜》 ① 9:00～10:30
② 10:30～12:00
③ 13:00～14:30
④ 14:30～16:00

主な資格取得

◎北海道農協職員資格認定（初級） ◎毒物劇物取扱者資格（農薬用品目） ◎危険物取扱者資格（乙4類） ◎ファイナンシャルプランナー（3級） ◎ワープロ技能検定（1～3級） ◎情報処理（表計算）なる各種資格が取得できます。技能検定（1～3級） ◎フォークリフト技能資格

☎0120-918-417 TEL.(011)386-7502
FAX.(011)387-1715

入学試験案内配布中

PCから! JAカレッジ 検索

町内盆踊り大会に参加！



8月15日、第48回町民大盆踊り大会にＪＡ大樹町事業部が仮装の部で参加。

仮装に向けては、３課の女性職員が中心となって7月下旬より準備を進め浴衣の他、大樹町の主産業である乳牛の仮装を中心に、車、タイヤなどＪＡと事業部にゆかりのある仮装を披露し、会場を盛り上げた。結果として、第5位入賞の他に農業PRにもつなげた。



大学生対象インターンシップ



8月26日～27日、大学生を対象としたインターンシップを開催。6名の学生が参加した。

1日目は大樹小学校で青年部食育事業の収穫体験や、組合員の牧場見学・人工授精に分かれての実習を行なった。その後は航空公園を見学。大樹町役場にも協力頂き、宇宙の町の魅力を伝えた。初日の最後は晩成温泉に移動し、バーベキューを囲みながらの懇親会を行なった。

2日目は乳牛市場と作況調査に分かれての実習。午後からは生乳施設と雪印メグミルク大樹工場を見学した。

初めは緊張で堅くなっていた学生達も、今後の就活に向けて意欲的に取り組んでいた。

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **861**円

効力発生年月日 令和 **1** 年 **10** 月 **3** 日

※発効日の前日までは、835円です。



7月31日にJA北海道中央会と各連合会の役員にて、吉川農林水産大臣を含む農林水産省幹部職員及び道内選出与党国會議員等に対して、令和2年度国費予算概算要求に向けた要請運動を実施いたしました。「持続可能な北海道農業の確立に向けた政策提案」に基づき、農業予算の万全な確保に加え、国際貿易協定・交渉対策や労働力確保対策に向けた支援強化、各作物の需給安定対策の構築等を要請しました。また「食料・農業・農村基本計画」と「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」、「経営所得安定対策の交付単価」の見直しに向けては、家族経営基盤の維持・強化の視点や生産現場の実態を踏まえた議論を進めるよう要望しました。

引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現と日米貿易協定交渉については、「農業経営や生産基盤に影響がでないよう適切な国境措置の確保」、「北海道農業を犠牲としない毅然とした対応」を政府・与党に求め、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



地元プロ野球チーム・ファイターズのスポンサーイベントデーとして、7月19日、JAバンク北海道スペシャルナイターを札幌ドームで開催しました。本イベントは、昨年に引続き2回目になります。今回は、新たにJA特産品の物販コーナーを設けた他、参加JAの女性職員から対戦チーム両監督への花束贈呈を行いました。また、中央会などとも連携して、サポーターづくりに向けたPRを実施しました。



JA共済連北海道



7月18日に札幌・共済ホールにて「全道L・A・スマサポ大会」が開催され、平成30年度普及活動で優秀な成績を収められたL・A・スマサポ11名と、スマイルサポーター11名が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。



ホクレン



ホクレンと北海道日本ハムファイターズが連携して、同球団の発信力を生かして北海道農業の魅力を伝える「北海道農業応援プロジェクト」の取り組みが6月28日より開始しました。その一環として、7月13日に同球団マスコットの「ポリー」と「B☆B」が、ホクレン食と農のふれあいファーム「くるるの杜」にて、窯焼きピザを調理する体験イベントを開催し、消費者との交流を深めながら北海道産農産物のPRをしました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

今日から始める農場のチェックリスト No.4

～生乳の抗生物質残留事故防止のために確認しましょう～

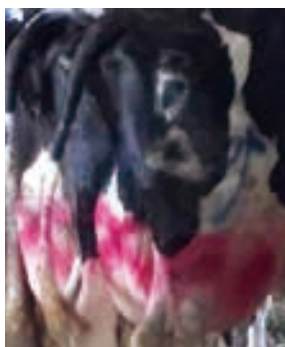
暑い夏が過ぎ、すごしやすい気候になってきました。しかし、暑熱時に牛が受けたストレスの影響は、ボディーブローのようにじわじわと乳房炎や繁殖成績に現れてきます。

また、牧草やサイレージ用とうもろこしの収穫時期は、ほ場作業が増え、忙しくなることから判断力の低下や、体調を崩しやすく注意が必要です。以下のことを確認して、生乳の抗生物質残留事故防止に努めましょう。

①マーキングをしている。

最低でも2種類。複数のマーキングで見落としのリスクを減らしましょう。

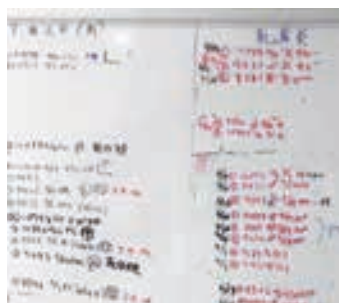
- ☐ 足にバンドをつける。
- ☐ スプレーで乳房や牛体後駆にマークする（消える前に再度マーキングする）。
- ☐ つなぎ牛舎：牛の前に看板をつける など



②治療牛について、搾乳者全員の周知を徹底している。

搾乳前に治療牛の確認・搾乳者間の連絡、打合せを徹底しましょう。

- ☐ 連絡ボードを設置する。
- ☐ 口頭で治療牛を伝えあう。



今朝から〇番も
治療始めたわよ

治療中の牛は〇番だよ



③抗生物質検査キットを使用している。

ミルクローリーへの混入を防ぐ最終出口の対策として、抗生物質検査キットの使用をお勧めします。

毎日の慣れた作業こそ確認を徹底し、事故の防止に努めましょう！

広尾警察署からのお知らせ

G20観光大臣会合の成功に向けて

10月25、26日の両日、俱知安町においてG20観光大臣会合が開催されます。既に行われたG20大阪サミット及び関係閣僚会合は、皆様の御協力により無事終了しました。

広尾警察署でも、テロ等違法行為の発生を未然に防止するため、重要施設や公共交通機関などにおいて警戒警備を強化することとしております。

皆様の御支援と御協力をお願いします。

秋の全国交通安全運動の実施

身につける 夜道のお守り 反射材

9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施します。

この時期は、日没が早まり夕暮れ時間帯から夜間にかけて高齢者を中心とした歩行者被害の交通事故の発生が懸念されることから、ドライバーも歩行者も交通事故防止に努めましょう。



【広尾警察署 2-0110】

理事会の動き

第7回 8/29

★報告事項

- 1 令和元年度環境負荷軽減型酪農経営支援事業の実施について
- 2 平成31年度畜産ICT及び酪酪G0事業の実施について
- 2 第50回十勝総合畜産共進会（乳牛）の結果について
- 4 令和元年度畜産基本調査集計（家畜飼養頭数）結果について
- 5 農産物生育状況定期調査結果について
- 6 農産物出荷状況について
- 7 令和元年7月末組合員勘定の動向について
- 8 資金の貸付について
- 9 理事に対する資金の貸付について
- 10 内部監査の結果について
- 11 組合員の異動について
- 12 職員の退職について
- 13 職員の採用について

★付議事項

第1号 2019年度大樹町

乳質改善事業反則金の使途について 協議・承認

第2号 北海道農業公社肉用牛貸付事業による貸付について 協議・承認

第3号 令和元年度全道共計販売品の取扱について 協議・承認

第4号 平成30年度補正（4回目）畑作構造転換事業の実施について 協議・承認

第5号 理事に対するリース契約について 協議・承認

第6号 理事に対する資金の貸付について 協議・承認

第7号 出資の減口について 協議・承認

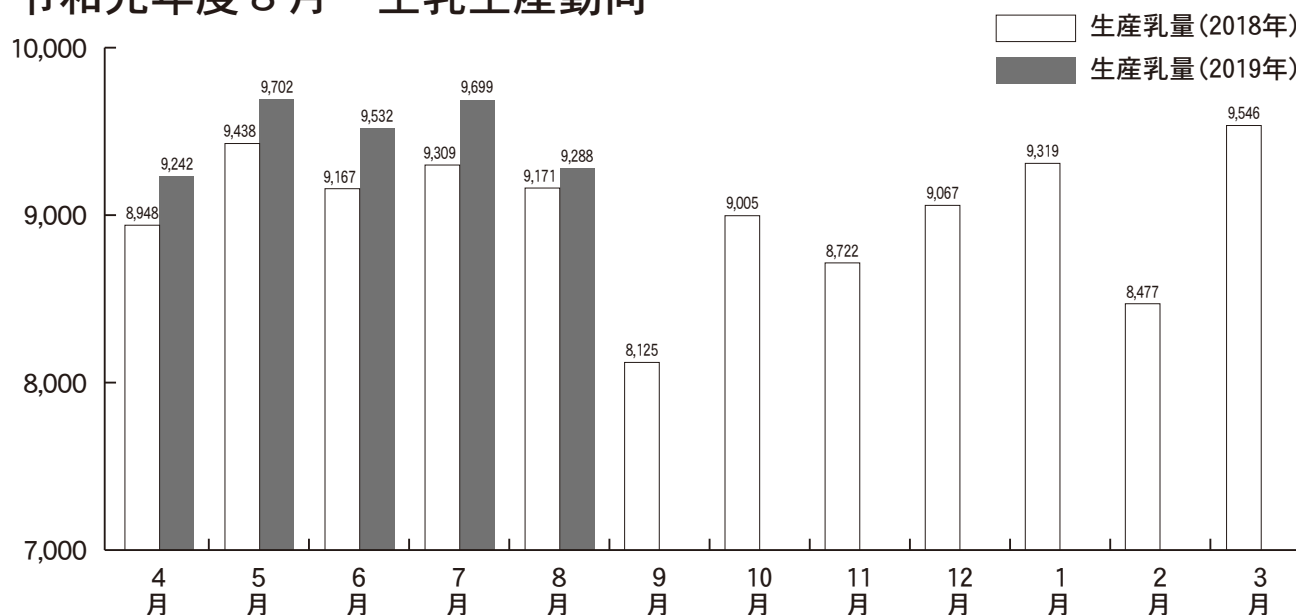
第8号 固定資産の取得について 協議・承認

第9号 個人情報取扱規程の一部改正について 協議・承認

第10号 職制規程の一部改正について 協議・承認

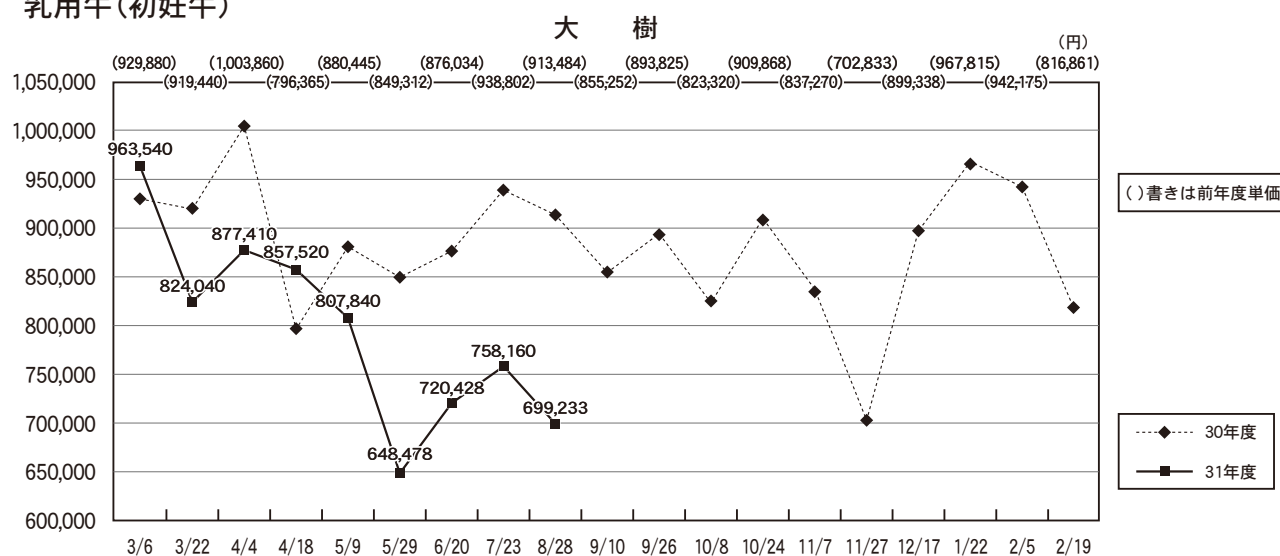
第11号 対策指導農家及び低所得農家の営農計画の見直しについて 協議・承認

令和元年度 8 月 生乳生産動向

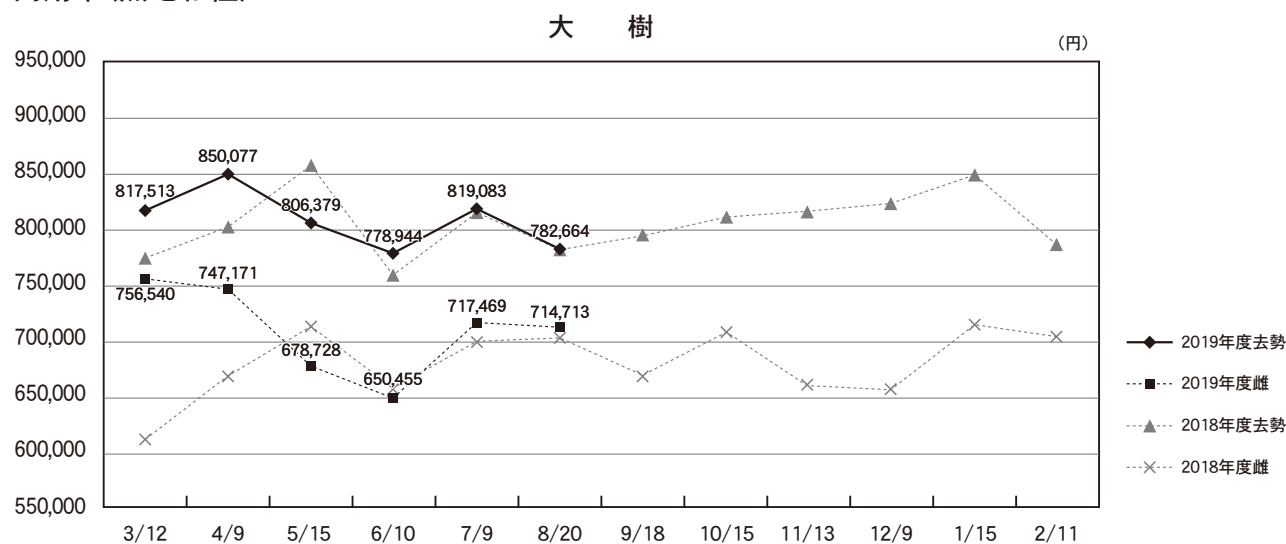


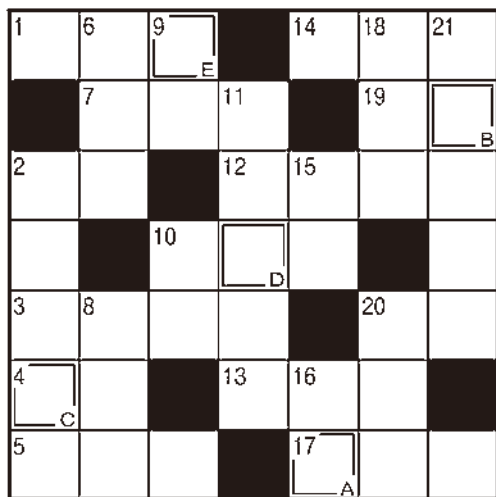
家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)





- ②『羅生門』『鼻』は——龍之介の作品です
- ⑥建築士が引いたり広げたり
- ⑧サケなどの卵の塩漬け
- ⑨平仮名もアルファベットもこれの一種
- ⑩便箋に引いてある線
- ⑪資源などを再利用すること
- ⑮王様の耳は——の耳
- ⑯ゼイゴやゼンゴと呼ばれるうろこを持つ魚
- ⑱長崎県の北の端にある島

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

- ②『羅生門』『鼻』は——龍之介の作品です

- ②炭酸水のこと。クリーム——
- ②①だして煮た鶏肉を卵でとじてご飯にのせる

ヨコのカギ

- ①島根県の観光名所、——大社。神無月には日本中の神様が集まるのだとか

- ②大福餅の中身です
- ③10月の第2月曜は——の日。国民の祝日です

- ④絵画や色紙を入れます
- ⑤江戸時代の旅人の履き物。二足の——

- ⑦「カラスの足跡」と呼ぶシワができるところ

- ⑩騎手たちが1着を争います

- ⑫日本で3番目に広い湖

- ⑬釣りで使う擬餌針のこと

- ⑭一本釣りで知られる魚の一つ

- ⑰京都三大祭りの一つ、——祭は10月に行われます

- ⑱目で見える範囲のこと

- ⑳得の反対語



9月号の答え

A B C D E
サ フ ア イ ア
でした。

当選おめでとうございます

当 選 者

- (上中島) 辻 本 千 愛さん
- (萌和) 川 原 和 夫さん
- (萌和) 米 谷 馨さん
- (石坂) 太 田 美智子さん
- (上大樹) 坂 本 眞知子さん
- (東和) 向 井 稔さん
- (東和) 森 田 光 則さん
- (豊里) 牧 田 和 美さん
- (尾田) 天 野 千由紀さん
- (拓進) 鈴 木 初 花さん

- 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

- 締切り Ⅱ 10月10日(当日消印まで有効)

- 届 出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課・大樹協同商事の専用投書箱へ。

- とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。

- 賞 品 Ⅱ 大樹協同商事商品券(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

- 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

- 9月号の応募者は20名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

- 当選した方には大樹協同商事の商品券をお届けいたします。

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合

JAと農業

監修＝JCA
(日本協同組合連合会)

地産地消の拠点は「直売所」

JAファーマーズマーケットは新鮮で安全・安心な農産物を供給する「地産地消」の拠点です。「地産地消」とは「地元で生産されたものを地元で消費する」ことで、地域農業の振興の役割を担うとともに、食料自給率の向上にも役立っています。

また、JAファーマーズマーケットには生産者である組合員のみならず准組合員や地域住民も新鮮な農産物を求めて多数集まることから、食や農、ひいては協同組合にかかる理解の醸成もはかることができる「JAの情報発信」の拠点としても重要です。

そんな、JAファーマーズマーケットは全国に約2,100店舗あり、販売高は約3,500億円に上ります。また、地域だけではまかなえない農産物を異なる地域のJAファーマーズマーケット間の連携で補ったり、加工品の開発や農家レストランを併設するなど工夫を凝らした店舗も増えているなど発展を続けています。

※2016年度、農林水産省「6次産業化総合調査」



直売所（JAファーマーズマーケット）の役割

新鮮な農産物を供給する「地産地消」の拠点

食や農、協同組合にかかる「情報の発信」の拠点



耕そう、大地と地域のみらい。

語句解説

【「直売所（ファーマーズマーケット）の日」】

10月2日は「採れ（10）たてに（2）会おう」の語呂合わせから「直売所（ファーマーズマーケット）の日」に制定されています。出来秋で多様な農産物が集まるこの時期に、イベントやキャンペーンなどを行うJAファーマーズマーケットも多数あります。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



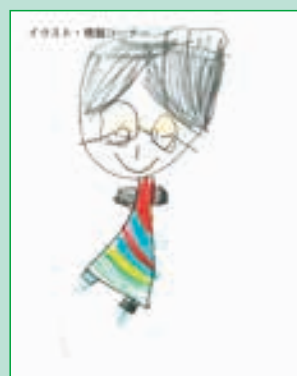
拓進 鈴木 初花ちゃん (12歳)



上中島 辻本 千愛ちゃん (11歳)



幸徳 たかだ きらとくん (6歳)



寿通 すずき こあけちゃん (4歳)